

AFFINIX Q8

分子間相互作用定量 QCM 装置



0.1 mL

8 ch

発振

AFFINIX Q8は同時8センサー測定を可能としたうえ、測定必要サンプル量を低減することにより、お客様の実験効率向上とランニングコスト低減を達成します。

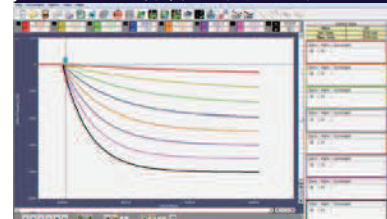
ハードウェア

- ・発振法を採用
- ・8チャンネル同時測定可能
- ・低容量100 μ Lセンサー
- ・測定の自由度が高いキュベット（バッチ）タイプ
- ・8連ピペットによる操作が可能
- ・加熱、冷却機構の搭載（標準モデル）
- ・周波数安定化時間が従来機の1/2以下
- ・メンテナンスフリー
- ・取説不要の簡便操作性

ソフトウェア

- ・直感的で洗練された操作性
- ・フィッティングモード搭載（専用解析ソフト「AQUA（オプション）」による動力学解析が可能）
- ・ドリフト補正機能搭載
- ・スミージング機能の搭載
- ・データViewerソフトの標準添付

8センサー同時リアルタイムモニター



AFFINIXシリーズ 製品ラインナップ／SELECTION GUIDE

	AFFINIX Q8	AFFINIX QN Pro	AFFINIX QN μ	AFFINIX QN
・手軽な相互作用測定装置を導入したい	○	○	◎	◎
・結合定数・速度定数を測定したい	◎	○	○	○
・サンプルの消費量を抑えたい	◎	○	○	△
・測定したいサンプルの数が多い	◎	○	○	○
・測定溶液に有機溶剤を混在させたい	△	△	△	○
・有機溶剤を使用して固定化を行いたい	○*	○*	○*	◎
・吸着物の粘弾性を定量したい	—	◎	—	—
・溶液の粘性を定量したい	—	◎	—	—

◎：特にオススメです

○：オススメです

△：あまり得意ではありません

—：測定できません

*：水晶分離型センサーセルをご利用ください

**：測定カップを取り外してご利用ください

仕様・動作環境

製品名	AFFINIX Q8	
型式	QCM2012（標準モデル）	QCM2012E（機能限定モデル）
測定原理	水晶発振方式	
測定周波数	27 MHz（基本波）	
感度（質量周波数比）	30 pg/Hz（620 pg/cm ² ・Hz）	
検出可能質量範囲	100 pg～10 μ g（2 ng/cm ² ～200 μ g/cm ² ）	
周波数安定性	液相ノイズ幅：1 Hz以下（25℃蒸留水中安定化時）	
平均周波数変移	1 Hz/min以内（25℃蒸留水中安定化時）	
インジェクト方式	マニュアル方式、多検体連続注入（逐次添加可能）	
最小インジェクション量	0.1 μ L～	
測定チャンネル数	8	
測定容量	80～120 μ L	
センサー	測定槽付きセンサー	
攪拌機構	モーターによる攪拌棒回転	
	0～3,000 rpm（設定100 rpm単位）	3,000 rpm 固定
温度制御機構	ペルチェ素子	
設定温度範囲	10～40℃ ¹⁾ （設定0.1℃単位）	25℃ 固定
システムソフトウェア	『QCM2012』専用（付属PC限定ライセンス）	『QCM2012E』専用（付属PC限定ライセンス）
※プリインストールでの出荷となります。CD-ROM等での同梱はございません。 ※ライセンスフリーの測定データビューワーをCD-ROMにてご提供いたします。		
データ処理部形式	Windows®ノート型PC	
データ通信方式	Ethernet 仮想シリアル	
外形寸法	220 W × 410 D × 170 H（mm）（AFFINIX Q8 本体のみ；突起部分除く）	
重量	7.0 kg ※PCは除く	
電源	AC 100～240 V, 1A ※PCは除く	
推奨動作環境温度	20～30℃	
主要オプション	専用解析ソフト AFFINIX Q User Analysis (AQUA) インストールCD Immobilization Kit for AFFINIX (固定化キット)	
標準付属品	AFFINIX Q8 本体（標準モデル/機能限定モデル）(1) 通信測定制御ソフト（標準モデル/機能限定モデル）組込PC (1) 取扱説明書 (1) PC付属品（LANケーブル含む） センサートレイ (1) センサーホルダー (1) センサー-01※1/パック8個 (1) 測定データViewerソフト (1)	

1) ただし到達下限温度は室温以下10℃まで

センサーの特長

- ・基本周波数27 MHz
- ・低容量80～100 μ Lセンサーにて測定可能になり、実験のランニングコストを大幅に低減（従来機比1/100～1/5）
- ・センサーの小型化により市販の8連ピペットによる操作が可能になり作業性を大幅に改善
- ・センサーを測定カップとセンサー基板に容易に分離可能
- ・固定化作業の簡便化
固定化操作が容易で、固定化状態を目視で確認可能
物理洗浄と化学洗浄の両方が行える

